

令和6年度 介護職員等の喀痰吸引等研修(第2号研修)募集要項

1. 目的

老人福祉施設、老人保健施設及び居宅において必要なケアをより安全に提供するため、適切に喀痰吸引などを行うことができる介護職員等を養成する。

2. 研修課程

不特定の対象者に対する喀痰吸引(口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部)及び経管栄養(胃ろう又は腸ろう・経鼻)に関する研修で、基本研修(講義 50 時間・演習・筆記試験)及び実地研修とする。全行為のうち、一部の行為だけを必要とする利用者様が存在すれば、1 行為からでも研修が受講できる。実地研修は4 行為までとする。

3. 対象者

- (1) 県内の介護保険施設や在宅サービス事業所等に勤務する介護職員とする。
- (2) 全日程受講できること。
- (3) 所属する職場又は同一法人、関連法人の施設等で実地研修できること。

4. 研修会場・日程

(ア) 基本研修の講義は、オンライン(Zoom ミーティングを使用)で実施します。

(イ) 基本研修の筆記試験・演習は、対面で実施します。

会場: 静岡県総合社会福祉会館シズウェル 〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1-70

駐車場はありません。公共交通機関、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

(ウ) 実地研修は、受講生が所属する職場又は同一法人・関連法人の施設等で実施していただきます。

基本研修	講義 (ア)	10 月 24 日(木) 11 月 7 日(木) 11 月 20 日(水) 12 月 4 日(水) 12 月 18 日(水) 1 月 15 日(水)
	筆記試験 (イ)	1 月 28 日(火)
	演習 (イ)	1 月 29 日(水)・30 日(木)・31 日(金)いずれか一日
実地研修 (ウ)	演習終了後 随時実施	

講義時間は概ね 9:30~16:30 となります。

5. 募集定員

24 名

6. 受講料

会員 60,000 円 非会員 70,000 円

(消費税、テキスト代、筆記試験料、賠償責任保険料含む)

筆記試験再試験の場合 別途 3,000 円(税込み)が必要になります。

7. 提出書類

- (1) 受講申込書・調書
- (2) 実地研修に関する確認書（受講決定後）
- (3) 免除対象者（※修了証又は認定証の写しを添付してください。）

※研修の一部免除の取扱い

「特別養護老人ホームにおける痰の吸引等の取扱いについて」(平成 22 年 4 月 1 日厚生労働省医政局長通知)に基づく研修の修了者は、基本研修の演習のうち「口腔内の喀痰吸引」及び実地研修の「口腔内の喀痰吸引」が免除となります。申込み時に修了証明書の写しを添えて下さい。

個人情報、本研修の運営のみに使用し、ご本人の承諾なしに第三者に開示、提供することはありません。

8. 申込み方法

上記(1)申込書を下記事務局へ FAX 送信またはメール添付にて送信してください。申込書は HP「研修・講習会一覧の喀痰吸引等研修」のページよりダウンロード可能です。受講決定後に(2)の確認書を送付します。 FAX 054-253-0829 e-mail : shizukai@cy.tnc.ne.jp
(FAX 送信の際、到着確認の電話をお願いします。メール送信の場合は、受信後折り返し返信いたします。)



<https://shizukai.jp>

9. 締切日

9月20日(金)

受講人数が 16 名以下の場合、実施できない場合もありますことご了承ください。締切り日以降、申込みの施設・事業所担当者様に受講決定通知を送付します。

10. 研修修了後の手続き等

- (1) 研修修了者には修了証書を交付します。遅刻、早退、欠席とみなした場合は、修了証書を交付できません。
- (2) 実際に痰の吸引等の特定行為を行うには、修了証書受領後、県に「認定特定行為業務従事者認定証」の交付を受ける必要があります。「認定特定行為業務従事者認定証」の交付を受けた介護職員等が事業所で痰の吸引等の医療的ケアを行う際には、事業所として別途県に「登録特定行為事業者」としての登録申請が必要です。

申込み・問合せ

一般社団法人静岡県介護福祉士会事務局・谷口

〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1-70 静岡県総合社会福祉会館 4 階

TEL 054-253-0818 / FAX 054-253-0829

E-mail shizukai@cy.tnc.ne.jp

<http://shizukai.jp>

令和6年度 介護職員等による喀痰吸引等研修 日程表

1. 基本研修 講義

状況により、時間が前後することもあります

実施日	科 目	時間	時間数
10月24日 (木) オンライン	オリエンテーション	9:30 ~ 9:40	
	1. 人間と社会【P16~P29】		1:05
	①介護職と医療ケア	9:40 ~ 10:00	0:20
	②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	10:00 ~ 10:45	0:45
	2. 保健医療制度とチーム医療【P32~P47】		1:25
	①保健医療に関する制度	10:45 ~ 11:30	0:45
	②医療的行為に関係する法律	11:30 ~ 11:50	0:20
	③チーム医療と介護職員との連携	11:50 ~ 12:10	0:20
	昼休憩	12:10 ~ 13:10	1:00
	3. 安全な療養生活【P50~P83】		3:00
	①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	13:10 ~ 14:40	1:30
	②救急蘇生法	14:40 ~ 16:10	1:30
	1日目講義時間計		
11月7日 (木) オンライン	4. 清潔保持と感染予防【P86~110】		1:45
	①感染予防	9:30 ~ 9:50	0:20
	②職員の感染予防	9:50 ~ 10:10	0:20
	③療養環境の清潔、消毒法	10:10 ~ 10:30	0:20
	④滅菌と消毒	10:30 ~ 11:15	0:45
	5. 健康状態の把握【P112~P124】		2:15
	①身体・精神の健康	11:15 ~ 12:00	0:45
	昼休憩	12:00 ~ 13:00	1:00
	②健康状態を知る項目（バイタルサインなど）	13:00 ~ 14:10	1:10
	③急変状態について	14:10 ~ 14:30	0:20
	6. 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」概論（1）【P126~P133】		1:55
	①呼吸のしくみとはたらき	14:30 ~ 15:40	1:10
	②いつもと違う呼吸状態	15:40 ~ 16:25	0:45
2日目講義時間計			5:55
11月20日 (水) オンライン	6. 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」概論（2）【P134~P176】		6:20
	③喀痰吸引とは	9:30 ~ 10:15	0:45
	④人工呼吸器と吸引	10:15 ~ 11:45	1:30
	昼休憩	11:45 ~ 12:45	1:00
	⑤子どもの吸引について	12:45 ~ 13:30	0:45
	⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	13:30 ~ 13:50	0:20
	⑦呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）	13:50 ~ 14:35	0:45
	⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	14:35 ~ 15:20	0:45
	⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	15:20 ~ 16:50	1:30
3日目講義時間計			6:20
12月4日 (水) オンライン	7. 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説【P178~P200】		6:00
	①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	9:30 ~ 10:15	0:45
	②吸引の技術と留意点（1）	10:15 ~ 11:45	1:30
	昼休憩	11:45 ~ 12:45	1:00
	③吸引の技術と留意点（2）	12:45 ~ 15:00	2:15
	④喀痰吸引にともなうケア	15:00 ~ 15:45	0:45
	⑤報告および記録	15:45 ~ 16:30	0:45
4日目講義時間計			6:00

実施日	科目	時間	時間数
12月18日 (水) オンライン	8. 高齢者および障害児・者の「経管栄養」概論 (1) 【P266～P296】		6:00
	①消化器系のしくみとはたらき	9:30 ～ 10:40	1:10
	②消化・吸収とよくある消化器の症状	10:40 ～ 11:25	0:45
	③経管栄養法とは	11:25 ～ 12:10	0:45
	昼休憩	12:10 ～ 13:10	1:00
	④注入する内容に関する知識	13:10 ～ 13:55	0:45
	⑤経管栄養実施上の留意点	13:55 ～ 14:40	0:45
	⑥子どもの経管栄養について	14:40 ～ 15:25	0:45
	⑦経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	15:25 ～ 15:45	0:20
	⑧経管栄養に係る感染と予防	15:45 ～ 16:30	0:45
5日目講義時間計			6:00
1月15日 (水) オンライン 研修	8. 高齢者および障害児・者の「経管栄養」概論 (2) 【P297～P306】		1:30
	⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	9:30 ～ 10:15	0:45
	⑩急変、事故発生時の対応と事前対策	10:15 ～ 11:00	0:45
	9. 高齢者および障害児・者の「経管栄養」実施手順解説 (1) 【P308～P331】		6:00
	①経管栄養で用いる器具・器材としくみ、清潔の保持	11:00 ～ 11:45	0:45
	昼休憩	11:45 ～ 12:45	1:00
	②経管栄養の技術と留意点 (1)	12:45 ～ 14:15	1:30
	③経管栄養の技術と留意点 (2)	14:15 ～ 16:30	2:15
	④経管栄養にともなうケア	16:30 ～ 17:15	0:45
	⑤報告および記録	17:15 ～ 18:00	0:45
6日目講義時間計			7:30
講義時間合計			37h15m
1月28日 (火) シズウェル 601会議室	【救急蘇生法 (シミュレーターを用いた演習)】・筆記試験に向けて	9:30 ～ 11:30	0:30
	昼休憩	11:30 ～ 12:30	1:00
	オリエンテーション	12:30 ～ 12:40	0:10
	筆記試験	12:40 ～ 13:40	1:00
	休憩	13:40 ～ 13:50	0:10
	演習デモンストレーション	13:50 ～ 14:10	0:20
	採点結果伝達 ・ 終了	14:10 ～ 14:30	0:20
	※再試験 (対象者のみ)		

2. 基本研修・演習※ 2名1組で1日4組

実施日	科目	時間	時間数
1月29日 30日 31日	【吸引シミュレータを用いた演習】	9:00から12:00	
	・口腔内吸引		5回以上
	・鼻腔内吸引		5回以上
	・気管カニューレ		5回以上
昼休憩			12:00 ～ 13:00 1:00
上記日程の うちいずれ か1日 シズウェル 101会議室	【経管栄養シミュレータを用いた演習】	13:00～17:00	
	・胃ろう又は腸ろう		5回以上
	・経鼻経管		5回以上
	【救急蘇生法 シミュレータを用いた演習】	1回以上	1回以上
講評		17:00～17:30	